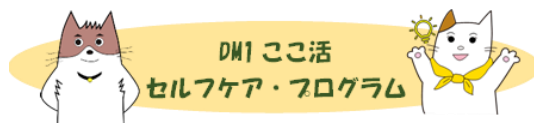


## こころと活動のセルフケアについて学びませんか？

患者と介護者のための心理・社会的支援プログラム開発研究への参加者を募集します！



筋強直性ジストロフィー1型（以後、DM1）を持つ患者さんとその介護者を心理・社会的側面から支援するプログラムの開発研究が開始され、研究に参加いただける患者さんと介護者を募集しています。ご関心のある方はぜひ下記連絡先までお問い合わせください。

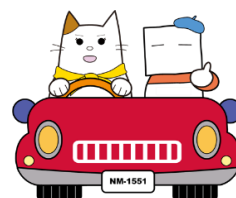
身体の治療やケアと同様に、こころと社会生活に関するケアも大切です。

DM1 とともに生きるには、身体の治療やケアと同様に、こころと社会生活に関するケアも非常に大切です。この研究では、DM1 をお持ちの患者さんとその介護者がこの支援プログラムに参加することで、患者さんの活動量、症状の感じ方、生活の質（QOL）、介護者の介護負担感が改善するかどうかの検証を行うことを目的としています。

こころと活動のセルフケアを学ぶプログラムです。

この支援プログラムは、患者さんと介護者が医療スタッフとともに、対話を通してこころと社会活動のセルフケアの方法を学ぶ内容となっています。

- 全体で約10回のセッションを週1回から月1回の頻度で実施します。各セッションは、研究実施施設をご訪問いただくか（交通費はご負担ください）、オンラインでお受けいただくことも可能です。
- これらのセッションとは別に、基本情報の聞き取り、QOL や症状などに関する質問紙にご回答いただくために研究実施施設への訪問をお願いする回が3回あります。



【参加お申込みの締め切り】 2022年11月30日

【募集人数】 患者さんとその介護者、10組

【研究を実施する施設】 国立病院機構 青森病院、 国立精神・神経医療研究センター病院

【研究に参加できる方】

- とともに研究参加に同意している患者とその介護者（介護専門職の方を除く）
- とともに18歳以上の患者および介護者
- 遺伝子検査によりDM1と診断された患者
- 歩行可能、または、補助具／車いすを利用して自力移動が可能な患者

【お問い合わせ】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床研究支援部

遠藤 麻貴子（研究責任者） 電話：042-341-2712（内線3841）

Eメール：endo@ncnp.go.jp （月・木・金 9:00~17:00）